

# KEYAK!

3月号

とある金曜日のことです。年長のゆうえんちにまだ乗れていなかった私は、ふらっと年長のクラスに立ち寄り、今日は乗れないのかと聞くと、帰りの会も始まるしできないとの返事。いつならよいのかと聞くと、子どもたちはほんの1～2秒考えすぐさま一斉に「じゃあ火曜日！火曜日に来て！」と言うのです。確か来週は火曜日から卒園遠足やらサンドイッチパーティやらてんこ盛りだったのではないかしらと思いつつ職員室に戻るとなんと、遠足は月曜日で火曜日だけはぽっかり空いているではありませんかっ！予定が分かっていないのは私の方で、彼らはちゃーんと見通しを持って生活しているのだと改めて実感いたしました。

見通しを持った生活ができるということは、頭が良くなったことはもちろんあるのですが、そうなる背景に、日々の生活が「たのしい」から「わかる」、わかるからたのしい、といった充実感や前向きな姿勢があるからこそ、先のことを楽しみに思えたり考えたりできるのだと思います。何より彼らの表情にしっかりとそれが現れているのが一目瞭然なのです。

皆さんはうすうす気付かれていますと思いますが、私の過去を含む園便りのエピソードは、1ヶ月のうちのちょっとしたやり取りの中のさらに一部分です。もし、例えば担任として毎日彼らと過ごしていたら、感心と感嘆と感動で感激死してしまうかもしれません・・・あくまで凡人論ですので、そんな子どもたちの発言や振る舞いが「年長くらいになればそんなこと当たり前でしょ」と言われてしまいそうですが、そんな当たり前、つまり「当然」が、園生活での積み上げによって成り立っている「必然」だとしたら・・・というわけでたどり着いたこの結論は、卒園式で！

これからも「彼らの獲得してきたもの」を大切にしていけるとともに、これからの年長さん（年中さん年少さん）にも大事にしていかなければならないものと切に思っています。

\*今年度の写真、DVDの収益を使い、でかいロールの模造紙と大型絵本数冊を予定しております。ご協力ありがとうございました。

## 今月のねらい

- ・就学・進級に期待を持ち、おもいきり園生活を楽しむ
- ・思いついたことややりたいこと、言いたいことが自由に出し合える